

# 会議録

## 1 附属機関の名称

令和3年度第1回犬山市産業振興会議

## 2 開催日時

令和4年3月22日（火）18時00分から20時00まで

## 3 開催場所

市役所201・202会議室

## 4 出席した者の氏名

- (1) 委員 井内尚樹、長尾亨、内田信也、片山義博、吉田英美、奥村好樹  
山下富士夫、鈴木総一郎、加藤秋人、梅田千里、細江英明  
(順不同・敬称略)
- (2) 事務局 永井経済環境部長、武内産業課長、大谷産業課課長補佐、  
石黒産業課課長補佐、小池観光課課長補佐、山田産業課主査、  
林産業課主査補、堀

## 5 次第

- (1) 開会
- (2) 委員委嘱
- (3) 委員自己紹介
- (4) 会長等選任
- (5) 報告事項
  1. 犬山市観光戦略について
  2. 犬山市の産業振興等に関する事業について
    - ①令和2年度の報告（資料3、資料4）
    - ②令和3年度の状況（資料3、資料5から資料7）
    - ③令和4年度の産業振興に関する事業（資料8、追加資料①、追加資料②）

## 6 議事

- (1) 犬山市産業振興補助金について

## 7 その他

## 8 閉会

### 【資料】

- (資料1) 犬山市産業振興基本条例
- (資料2) 犬山市産業振興会議規則
- (資料3) 犬山市中小企業支援補助制度一覧
- (資料4) 令和2年度新型コロナウイルス感染症対応施策一覧
- (資料5) 令和3年度新型コロナウイルス感染症対応施策一覧
- (資料6) 事業継続支援事業について（令和3年度）
- (資料7) 犬山市中小企業生産性革命推進事業支援補助金について（チラシ）
- (資料8) 令和4年度の産業振興に関する事業
- (資料9) 産業振興補助金利用状況の推移
- (資料10) 犬山市産業振興補助金交付要綱
- (別冊資料) 犬山市観光戦略
- (追加資料①) 令和4年度農業施策
- (追加資料②) プレミアム商品券事業

## 7 内容

事務局

### 1. 開会

それでは皆さん、こんばんは。

本日は、年度末のお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

時間よりは、若干早いですが、ただいまから令和3年度第1回犬山市産業振興会議を始めさせていただきます。

私、産業課長の武内と申します。

着座にて失礼いたします。

会議の議事は、会長が議長となり進めるのが本来ですが、会長が選任されるまでは、私が本日の進行を進めさせていただきます。

この犬山市産業振興会議につきましては、お手元の方に資料1及び資料2で、配布をさせていただきました犬山市産業振興基本条例、及び犬山市産業振興会議規則に基づき、産業振興に関する施策の検証、充実を図るために設置されたものであり、本年度で3年目となります。

令和元年度は、2回開催できましたがそれ以降、新型コロナウイルスの影響で、何度か延期となり、今回年度末ぎりぎりの開催となりましたこととお詫び申し上げます。

本来であれば、犬山市長の山田拓郎よりご挨拶を申し上げるべきところですが、他の公務が入っており、出席できませんので、経済環境部長の永井の方からご挨拶をさせていただきます。

永井部長

改めまして、皆さま、こんばんは。ただいま司会からお話しがございましたように、私、経済環境部長でございますが、市長に代わって、開会のご挨拶とさせていただきます。

繰り返しになりますが、この産業振興会議は、平成30年の10月に、産業振興基本条例を制定いたしましたので、その条例に基づく各種取り組み、種々展開をしているわけですが、やはりPDCAサイクルをしっかりと回して、その内容を検証するとか、とりわけ、コロナ禍でございますので、その中における経済対策をしっかりと皆様からご意見を頂くという目的で、この会議が設置されております。

まさに、一昨年にコロナが拡大してから、この会議は開催されておられません。偶然ではございますけど、今日、まん延防止等重点措置が解除されたこの日に計算したように会議が設定されていることとございますけど、改めて、皆様からご意見を頂くことができる場ができたなというところでございます。

後程、コロナだけではなくて将来に向けた経済対策ですとか、今日は最初に、

事務局

犬山市観光はやっぱり、基幹産業に今後ますますなっていかなければいけないというところで、こちらの方も長年をかけまして、観光戦略というものを作っております。まさに、この3月で策定が終了しまして、4月からこの戦略もスタートして参りますので、その説明をしながら、後程、会長の取り回しの中で、皆様方からご意見を頂くことができれば幸いです。よろしくお願いいたします。

ありがとうございます。

それでは本日の会議につきましては、お手元の次第に従いまして説明させていただきますと思います。

概ね2時間程度、午後8時には終了とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは皆さん、今後発言の際は、議事録のために集音マイクを用意しましたので、発言する時は少し大きめの声でマイクに向かって、お話いただくと幸いです。

はじめに、委員の委嘱の方をさせていただきますと思います。

委嘱状につきましては、委員の皆様全員に市長から直接お渡しをさせていただくのが本来であります。お手元の方に配付をさせていただきました。

ご確認の上、ご査収いただきますよう、よろしくお願いいたします。

本日は委員総数11名、出席委員11名全員となっております。

会議を開催するにあたり、委員の過半数にご出席いただいておりますので、会議規則第4条第3項の規定により会議は成立いたしましたことをご報告いたします。

会議の内容については、後日、資料と会議録をホームページで公開する予定となっておりますので、あらかじめご了承ください。

会議録につきましては、2人の委員が署名をすることとなっております。

委員の交代はありましたが、前回までの方法に倣って、名簿順ということで、本日の会議録は、奥村委員と山下委員にご署名いただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

それではここで配布資料の確認の方をさせていただきます。

(資料の確認)

それでは次に、委員の紹介に移らせていただきます。

今回初めて顔を合わせる方も多くいらっしゃるかと思いますので、お1人ずつ順番にお言葉をいただけたらと思います。

所属、お名前の後に委員としてご活躍いただくにあたっての抱負など、それ

それぞれの立場で簡単に述べていただきますとありがたいです。  
どうぞよろしくお願いいたします。

○委員委嘱

委員の手元へ委嘱状配布

委員総数 11名 出席委員 11名

委員の過半数が出席により、会議規則第4条第3項の規定により会議は成立

3. 委員自己紹介

井内委員

名古屋の名城大学経済学部にあります、井内と申します。よろしく。  
半分以上ぐらいの方の顔はずっと見えていますので、久しぶりであります。  
新しく、今日お会いいただく方もおられるのですが、先程永井部長から報告がありましたように、この会議は産業振興基本条例を作った後に、ちゃんとその条例がうまいこといつているかどうかの会議で、まず、基本的には産業振興基本条例ですね。  
条例を新しい委員の皆さんは読んでいただいて、これがちゃんとできているかどうかという議論を色々としていきたいと思えます。

長尾委員

愛知北農業協同組合営農生活部の長尾と申します。よろしくお願いいたします。  
本日は、犬山市産業振興会議にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。  
農協ということで、第一次産業である農業についての立場でお招きいただいたと思っております。愛知北農協を簡単にご説明させていただきます。  
愛知北農協は、江南市、犬山市、大口町、扶桑町、岩倉市、3市2町を管内に持つ農協になっております。  
犬山市におきましては、お米を始め小麦や、果樹でいいますと桃やミカンなどが栽培されております。しかしながら、やはり農業者の高齢化や離農によって、出荷高というような、そういう生産高が年々減少傾向にありますし、減少に伴う耕作放棄地などの課題もかなり多くあります。  
こういう振興会議に出まして何かヒントがあればなどと考えて出席させていただきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

内田委員

私は、愛知中小企業家同友会、尾北地区から参りました内田信也と申します。  
皆さん聞き慣れない方もいるかなと思えますが、愛知中小企業家同友会という組織については、愛知県で4,600社、社というか、1人でやってみえる

方もいらっしゃいますので、約4,600人から組織されている中小企業施策の部分で色々、県に要望したり、国に要望したりなどと同時に、各地区例会を行いまして、経営者としてどう従業員を守っていくかということも含めて方針計画を作ったり、社員と一緒に野育ちをしていったりというような、各社の色々な悩みを皆さんに報告して、それを一つずつ解決しながら良い会社を目指していこうという形の中小企業家同友会であります。その中で、尾北地区といえますのは、犬山と扶桑、大口、1市2町で組織されまして現在60社ぐらい、60名の方が参加されております。まだまだ尾北地区、会員数が少ないですけど、今後、多くの会員を募って、皆さん一人一人の声を大きくしていきたいというふうに思っていますので、この産業振興会議についても、いろんな部分で課題を解決しながら、皆さんと共に犬山市の経済が良くなっていくように、皆さんに注意をしてもらいながら見ていきたいと思っております。 よろしくお願ひします。

片山委員

ご紹介いただきました、私は一般社団法人犬山市観光協会事務局長をさせていただいております。片山と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

以前は、私どもの専務理事であります、中田哲夫がこちらの会議でお世話になっておりましたけれど、今日から私の方にバトンタッチということで、出席させていただくことになりました。

冒頭に観光戦略のお話もありましたけど、つい最近まで、犬山市観光戦略の専門部会の方で私も委員をさせていただいております、何年かかけて、観光課の方を中心にこちらの委員をさせていただきました。観光目線の立場で産業と観光は切っても切り離せない関係もありますし、今、犬山市内にインディゴホテルが増え、またミュージスタイルホテルなどの新しいホテルが建ちました。

当然、今まで日帰りが多かったお客様も、日帰り観光から宿泊観光への転換ということも大きくうたわれていますので、やはり経済効果も見据えて、色々進めさせていただければと思っ、微力ながら、参加させていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。

吉田委員

犬山商工会議所 1号議員として出席させてもらっている吉田英美と申します。去年、その前からの引き続きで、また皆さんよろしくお願ひします。

私は、楽田のワコー車検センターで事業をしてきてまいりましたが、今は、犬山の文化協会の方にも力を入れたいと思ひ、そちらの方にも所属しました。犬山市としては、観光が目指すところが色々ありますが、文化の薫る犬山市というのも本当に必要などかと思っ、商工会議所の方で、一事業者として、商工会を利用する事業主と同じ立場であり、またそういう犬山市の観

光、そして、文化の薫る、そういうのを女性目線から意見していきたいと思いたすのでよろしくお願いします。

奥村委員

これまで正木専務が就任しておりましたが、去年の4月から変わりました私、奥村ですけれども、よろしくお願いします。

この産業振興会議は、まさしく商工会議所と切っても切れないものの一つです。ウェイトはほとんど会議所。様々な施策事業、市と協力しながら、タイアップしながら取り組んで行っています。

まさしく事業者の方々に産業振興的な事業について、一番最初に接触するのは私どもだと思います。色々なご意見を頂くこともありますけど、そのようなことも踏まえて、その中で少しでも反映させていけたらと思います。

実際今、全部で2,300ほどの商工業者がおりまして、私どもの意向等に賛同される事業所は1,500ちょっとです。それくらいの規模で66%程度の方が賛同して会員になってもらっている組織になります。今後ともよろしく。

山下委員

尾北民商から来ました、山下と申します。

民商とはご存知ないかと思いますが、家族経営それから個人経営の一番最も弱い立場の組織になります。尾北は江南、岩倉、扶桑、大口、犬山の3市2町で組織しております。そういう立場から、これから発言していきたいと思いたす。よろしくお願いします。

鈴木委員

犬山金融懇話会幹事として参加させていただいております。

岐阜信用金庫犬山支店の支店長の鈴木と申します。

犬山金融懇話会は、犬山市に支店を持つ地銀さん、信用金庫さんで、一部2つの支店を持たれる方もいらっしゃいますけども、一応、7つの金融機関の情報交換と地域に対してどうやって貢献していこうかといったことを議題にした金融セクターの交流会という位置付けでございます。

何分、ご存知の通り金融機関というのは、2年とか3年で人員が異動して参りますので、私どもも持ち回りで、支店長で幹事を対応させていただいていますが、非常にマイナス金利時代で、コロナの時代で、低成長でという中で、金融機関自身も今までのように、お金を貸してあげましょうというような世界ではなくて、地域に根差した地方創生の取り組みをどうやっていくかと、そこを工夫していき、地域の皆様の産業をどうやって掘り起こしていくのかということが非常に求められる時代になっています。

実際、私どもも行政の報告等で何かアイデアを出して取り組んでください

とよく言われますが、やはりそのためにはやっぱり、このような政策の絡んだ場も含めて、特に犬山というのは本当にお客様とお会いしても、皆さん地場を非常に愛していらっしゃる、素晴らしいお土地柄だと思います。

観光資源もございますし、産業資源もございます。

その中でやっぱり、金融機関としてどうやってお役に立てるかと言うのが、今回の委員としての趣旨だと思っております。

私個人のみならず、今回の議論につきましては、しっかりと他の支店長さん方にも共有をさせていただく機会にさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

加藤委員

名古屋経済大学の加藤と申します。

2年前に現職に着任しまして、今回初めてこちらに参加させていただきます。

専門は、製造業の中小企業の集積などをやっております、特に航空機産業といったようなものも研究しており、航空機産業とどちらかというとなんか北の各務原か南へ行って小牧かという格好ではありますけれども、ただそういった研究の知見を犬山にも業種が違えど、生かせればというところがまず一つと、それから、何分、大学生がたくさん集まっているところですので、もちろん政策的なところに直接、学生が絡んでいくという事はないかもしれませんが、何かその施策を実行していくという時に、学生を動員できないかと、ある種橋渡し役として、私が貢献できればというような意識を持ってこの場には来ておりますので、何か学生が使える場面がありましたらぜひ検討していただければというふうに思います。皆さんよろしく願いいたします。

梅田委員

犬山市消費者団体協議会に参加させて頂いている梅田です。

市民の立場からこの会議に参加させて頂いているものですから、よろしく願いいたします。

細江委員

細江でございます。

私、中小企業診断士という立場で参加させていただいております。

中小企業診断士といいますのは、国が認める唯一の経営コンサルタントの資格と、一応そういうことになっておまして、おそらくそういった専門分野から、この会議の中で意見を述べてくれということでご指名いただいたのかなというふうに思っております。

こちらにいらっしゃる皆様それぞれに、普段から中小企業の支援とか地域産業のご支援をされていらっしゃる方ばかりの中で、僭越ではございますが、私



なりに機会がございましたら、何か意見を申し上げたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局自己紹介)

#### 4. 会長等選任

##### ○会長の選任

事務局より推薦による選出を提案し、可決された。

内田委員より井内委員が推薦された。

出席委員全員の賛成により、井内委員が会長に選任された。

##### ○会長就任あいさつ

井内会長

皆さん、ご存知のように今、新型コロナウイルス感染で痛めつけられていて、やっと終わりかなと思ったらまた、ウクライナで問題が起こって、去年ぐらいは、ウッドショックとか建築資材が上がって、何も入らないみたいな。

大分皆さん、コロナに加えてエネルギーショックだ、ウッドショックだ、ウクライナ問題だと、要するに世界経済これからどうなるのと言っている間にまた、今日、東京の方で大きな地震が起こって、これから日本はどうなっていくのかというような。

やはり、これからの犬山の産業の将来考えるときに、本当に新しい状況、今までにない状況が、皆さんを取り巻いていますから、それに対してやはり、この会議での政策が皆さんの事業経営なり、事業活動に有益になるような会議にしていきたいというふうに思っておりますので、皆さん、よろしく願います。

##### ○会長の職務を代理する委員の選任

会長の指名により加藤委員が会長の職務を代理する委員に選任された。

#### 5. 報告事項

報告事項の前に、「会議の公開について」委員会に諮られ、本会議は公開することに決定した。

##### (1) 犬山市観光戦略について

【事務局より別冊資料観光戦略を用いて説明】

##### ○質問・意見等

井内会長

今、この観光戦略の概要の説明があったわけですが、この産業振興会議のと

ところで、条例を作る際に中小企業振興条例というものがあって、そういう形でもいいのではないかというような話があったのですが、やっぱり犬山は観光のまちだし、農業もあるし、そういった形でという行政サイドからの意見もあり、観光産業も産業振興基本条例の中に入っております。その関係上で、観光協会さんにも入って頂いているということで、皆さん、ご意見いただきたいと思えます。

パブコメはもう終わっていますか。

事務局

はい。終了しています。

井内会長

ちょうど今日の報告を聞いて、何か気になるところとか、こういったところはどうなのかというのを質問なり意見、自由な発言等がありましたら、誰か何かありませんか。

スッと終わるのはちょっとよくないので、観光協会の片山さんが、ここに参加しておられますので、従来のものと今回のものとでどういう点に力が入ったとか、何か、付け加えるようなところがありましたらお願いしたいのですが。

片山委員

冒頭でもお話し申し上げました。

従来から観光は、名古屋鉄道とタイアップして、キャンペーンとか誘客活動を展開してきました。

おかげさまで平成の19年ぐらいまで、犬山城が20万いくかいかないかという、それぐらいでしたけど、令和元年には、60万人ということで3倍。万博2005年時が一番下だったのですが、3倍ほど増えてきました。

それなりにホテルもあったものですから、10数万はいていましたが、3年前に名鉄犬山ホテルが廃館してから、もう宿泊観光も激減ということで、観光が疲弊しておりました。

特に、コロナになってからは、もう宿泊はゼロと言っていいほど。

そういう状況でありましたが、幸いにも先ほど言いましたように、インディゴホテルとミュースタイルホテルがコロナ禍でありながら、新築オープンということがありまして、まさに日帰り観光からコロナ後、もちろん日帰りの観光客も追っていきなきゃいけないのですが、宿泊観光にシフトをして、経済効果も落ちるお金がやっぱり全く違いますので、意識していきたいということです。

先ほど、小池課長補佐もおっしゃっていましたが、同時に城下町もオーバ儿的に、現に今日、まん防があげましたので、観光客がすごく来ております。

住民と観光客の共存という部分も、もう視野に入れていかないと、本当に立

ち行かなくなるというような状況もきていますので、やはり回遊性を含めた観光ルートの開発等も、まさに今、木曽川河畔が結構錆びれた感がありますので、そこをどのように活性化していくかということが大きな問題かなというところでございます。

これでコロナも、もしこのまま順調に推移していけば、国の方のG o T o キャンペーンなどそういった施策も多分秋ぐらい、あと愛知県バージョンのG o T o キャンペーンも連休後から始めるという話もありますので、そのような部分で観光を盛り上げていきたいなと思っております。

細江委員

大変中身の濃いといえますか、充実した観光戦略の説明を聞きまして、市民の1人という立場としても非常に心強く思うわけではあります、これから実際推進していくところが非常に大切だと思いますので、そのような中で、意見を少し申し上げますと、小池補佐のおっしゃったように、私も子供の頃は、犬山遊園からずっと川沿いに土産物店とホテルが並んでいる非常に人気があるようなまちで、今もしあのまちが残っていたら、犬山城からおそらく、モノレールもまだ残っていたら、ラインパーク、モンキーパークまで1日2日かかって遊べるゾーンが空いていったのかと思うと本当に悔しいと。それは時代の中でそうなったので、過去は振り返りませんが、その中で、今改めて、片山委員も言われたように、インディゴとかミュースタイルとかといったような好材料は出ていますが、宿泊を中心に長く、滞在してもらわないといけないという犬山の観光においては、色々な観点は出ましたが、市の方で対策して計画して下さるということで、ある種の公平性みたいなのができて、それが果たしてお客様の目から見た時に、本当に欲しいものが順番に均等に並んでいる品ぞろえになるのかどうかというところでは、やはりまず観光客の方にとって犬山が今どういう魅力を提供できていて、その魅力をしっかりお届けすることができるかという事を重点的にやって頂くというところで、その公平性が多少、担保されなくても最終的に市全体が強い部分に牽引されていくというような形で伸びれば、それも一つの計画なのかなと思いますので、また今後の細かなアクションプランの中では、多少のさじ加減も出てくると思いますので、そのような運営法、展開方法というのに期待したいと思います。

ただ、実際今、宿泊を増やすといっても、先ほど出た名鉄系のホテル以外は、ほとんどビジネスホテルで観光客の方が、楽しんでくつろいで泊まっていただけの旅館は、大変旅館さんには失礼なのですが、今すでに大分、老朽化しているというところで、魅力を強く発信されている所は、迎帆楼さんぐらいかなと正直、市民としてもとらえておりまして、そういった中で、各宿泊事業者さんを内側から支えるような事もぜひ、ご検討頂けたらなというふうに思います。

梅田委員

私自身としては、もうずっと地元におりまして、本当に昔とは、変わってきているのですが、住民の方も観光客の方を外からのお客さんという形で見てみえる方が多いかと思います。そうするとやっぱり自分の生活の方を重視して欲しいという気持ちが、まちの中の方にはあると思います。

そのため、それ以上に、犬山の発展に協力してくれるような魅力がないと、その気持ちは変わらないと思うので、もう少し地元の人たちの生活にプラスになるような、一緒に協力をして、観光に来てくださるお客様にも快く、気持ちよく、滞在していてもらいたいという、そんな気持ちにさせる何かがあるといいと思います。今の場合は、商売関係なく過ごしてみえる方にとって、自分の生活の邪魔をされていると思われるというのが強く思います。

山下委員

私も20数年ぐらい前は、本町通りがここまで変わるとは思っていなかったです。

シャッター通りで、その当時何とか犬山に沢山お客さんが来てほしいということで、100店舗ぐらいで魚屋町の前の通りでイベントをやりました。

おもしろそうだがやというイベントで、点から線になるように、本町に見合うようにと思ってその頃やったのですが、ここまで来るとは思ってもみなかった。それはやっぱり犬山城とまち並みがそのまま残っているから。

その当時はまちを壊すという方向で、いろんな議論がされていたのですが、ちょうど石田市長の時に、まち並みをそのまま残して行こうという方向性が出てから、ここまで来たと思います。

この観光戦略というのは、すごく膨大な中身で色々なことも書いてあると思いますが、商店街そのものが犬山市民のお店というのが少なく、やっぱり周辺地域からの人々が圧倒的に多いです。そのため、やっぱり住民と商店街のトラブルも多少は起こっています。

そういう意味ではこれから、そう簡単にはいかないとは思いますが、住民と商店街の人で話し合いの場をもっていく必要もあるかとも思っています。

吉田委員

犬山の城下町の辺りだけが犬山じゃないものですから、楽田も羽黒もあるので、犬山に来たお客さんも楽田・羽黒まで来て頂くには、犬山観光バスじゃないですが、犬山市の観光ルートバスみたいなもので、1日観光へ連れて行き、知ってもらおう。

お客さんが来るのを待っているのではなく、そういうものを利用してもらって、1日、半日観光をしてもらおうとか。

あとは、城下町のお店を経営している人は、犬山市の人ではなくて、他から来た人達だと言いますが、犬山市に住んでいる人達が、自分たちの犬山のまちがこんなにも良い所だということを、あまり自覚していらっしゃらない気がします。

初めから犬山城もあるし、城下町もある、木曾川もそばにあって、鵜飼もやっているし、山もあるし農業もあるし、すべて生まれた時からあるので、この犬山の素晴らしさが分かっていない方もみえるかもしれない。

だから、犬山の魅力をもう1度、再確認してもらい、もう一つ、城下町の賑わいだけではなく、若い人たちが食べながら歩いているだけではなく、文化が薫れば、また少しまちの雰囲気もレベルアップするというような事で、一人一人の市民に犬山がこんなにも良い所だったのだと思ってもらえれば、観光客が来ても「こんなにも来てくれるのだ」という自慢になるまちであるのではないかなと思います。

長尾委員

観光戦略が大変よくできていると興味深く聞かさせていただきました。

今、井内先生から話があった通り、観光にはお土産がつきものになってきますので、農業という資源もございます。

手前みそではございますが、JAの方でも犬山市さんの農産物を使った、6次化商品も多数開発して販売しておりますので、観光に絡めて、地元のお土産としてと思っております。

あと、この三つの課題の中のおもてなしと受入体制の整備、これもすごく重要なと思います。

行政さんとか、企業さんだけが頑張るのではなく、市民の方とも構成されて、行政観光全体を盛り上げていくというのが重要かと思って聞いておりました。

内田委員

観光戦略の52ページをちょっと見てもらおうと、まさに各地区のエリアの丸を点とすれば、いかに線に結んで面という形にしていくかという。

犬山市の面としての観光事業をどういうふうにしていくかという部分が一番大事な事かなと。それぞれに犬山は本当に、自然、或いは、色々な施設があり、リトルワールド含め明治村含めた遊べる所がたくさんあるので、このような部分を先ほど吉田さんから話があったように、何かに繋いで、遊覧できるような事業を考えると、そういうようなことも含めて多分、名鉄さんに色々力を借りてやっていかないといけないと思うのですが、犬山市の全体の部分をどう繋いでいくかということで広域連携という言葉がありますが、広域連携ではなく、犬山市地域連携のような部分で、何か面づくりをしていければ、多分、全体を通して、観光の部分でお城周りだけではなく、交通の部分について

ては、地図で見てもらうと、高速道路が近い、或いは41号も今3車線化になっているとの事で、高速道路とそれから41号の3車線化に向けた形で、進んでいけばいいのかなと。

また、先ほど90ページの一番下に、本戦略策定以降の観光に関する主な機会ということで話がありまして、令和8年にアジア大会を愛知県でやるということで、そういったことも含めながら、まずはこのイベントに対してどういふふうに整備していくかというような話が必要かと、それから宿泊という部分では、先ほど細江先生からも話があったように、なかなか行政としてどういう形で民間に協力依頼をしてやっていくのかというような部分がかなり大きな課題になってくると思いますが、そのような部分も含めて、例えば、各拠点、例えば明治村とかリトルワールドとかがありますが、そのような所に泊まる施設を作って点で結ぶとか、楽田のエリアでもそのような施設をどこか作るとか。

楽田・羽黒・犬山それからあと栗栖含めたそのような拠点政策を何かで結んで、泊まっていたかと。

点から線、線から面になるようなイメージはありますが、お金の部分もあると思うので。

そのような施策を何か打ち出すといいなという事で、52ページと90ページの部分がかなり、良いものになればと思います。

吉田委員

内田さんの意見を聞いていまして、泊まる所は、インディゴホテルや迎帆楼のような立派なホテルだけではなくて、民宿みたいな所でもいいと思います。

空き家問題もあるし、何か事業を求めている人にも良い仕事になるのではないかと思います。羽黒とか楽田はどうか分かりませんが、とにかく、明治村とか入鹿池のあたりや青塚古墳でもいいですし、田舎のペンションみたいな感じや古民家で泊まるとかでも良いのではないかと思います。

井内会長

それでは、他に何か自由にまだ私はこれを言いたいという人がいれば。

ただ、私も産業振興の委員として、少しだけ気になるのが、52ページに自然体験ゾーンが右下のところにありますね。

皆さんも新聞でご存知だと思うのですが、今井地域の所に太陽光パネルがバンテリンドーム10個ぐらいできるということがあったと思うのですが、産業振興委員を変えているという事で、振興条例に少し触れるのですが。

再生可能エネルギーの地域資源だという事があって、地域経済に貢献してくれるという事が書いてありますので。

この地域で、大きな太陽光発電ができるので、自然との共存というのは、私も意見として挙げたので、少し気になっていますね。

学習教材になったりしたらいいのですが、気になるなというところですが。  
それでは、この観光戦略をこの委員会で検討した方で承認を行ってください  
という事で非常に充実したものだったと私は思います。今後も持続していきたい  
というふうに思います。

(2) 産業振興等に関する事業について

【事務局より資料3から8、追加資料1、2を用いて説明】

○質問・意見について

井内会長

新規の事業継続支援事業とか、農業施策とあったわけですが、ご意見があればですが。

僕の方からこのアドバイザーというのは知り合いの社長さんとか、事業なんかを構築した事がある人とか、このアドバイザーというのは、別に誰でもいいわけ。

いいよね、これを見ている感じ。

行政の方は、診断士さんをちゃんとつけるけども、アドバイザーさんに色々  
と助言を頂いてという話だから、ここでアドバイザーというのは、どういう人  
でも一応構わないと。

事務局

補足だけさせていただきます。

今の会長のご発言で間違いないのですが、経営計画を立てる段階でどのような  
専門家を入れるのかは、診断士の方とお話をさせていただくというところで、  
しっかりと見ていただくという形になります。例えば事業者さんからこの人だ  
という形で、この人が専門家としてこういうふうですよという説明を、経営計  
画を立てていく過程で、コミュニケーションをとりながら、その方が適任とい  
うことであれば、市としては補助を出しますという制度となっております。

井内会長

分かりました。

何か他にあるという人。

それでは、議事に入らせていただいて、犬山市の産業振興補助金についてお  
願います。

6. 議事

(1) 犬山市産業振興補助金について

【事務局より資料9、10を用いて説明】

○質問・意見について

井内会長

少し簡単な説明ですが、資料9を見ていただいて、令和1年それから2年で「大丈夫だろう」「理由があるだろう」と思ったのですが(3)は、全然外れているみたいで、その上の(1)(2)の場合、展示会の出店等は、コロナの回復から見込めると。人材育成ももう少し、広げると。

農業関係者の利用があったというのは珍しいことですね。

(3)と(4)が、もう少し利用があるか、特に(4)は、何となく利用があるというふうに思ったが、2年過ぎてみると2件しか利用がなくて、改善する余地があるのかなのかということ、2年前に議論して、それっきりになったままなので、皆さんご意見がありましたら、一応事務局の提案としては、これで継続していくということ。

事務局

そうですね。

令和元年の時に、かなり見直しをしている部分がありますので、昨年度はコロナという影響もあったものですから、なかなか動きが見れなかったというのが正直あります。

今年度は少し戻りつつあるので、一度様子を見たいところもありますが、定期的に手入れをすればというようなことがあれば、この後にご議論いただいたものをもとに、見直しを今後かけていくという事をしていきたいと考えております。

井内会長

誰かご意見ありましたら。

使い勝手が悪いと言われるのも。

せっかく用意している予算があるのに。

内田委員

周知だと思いますね。

確かに僕も、多分、産業振興会議に出ているから、知っているだけで出てなかったら知らないか方もたくさんいるのではないかなと言っても、余りにも、応募がたくさんあると予算の関係でオーバーするという事もあると思いますし、いかにポイント、ポイントで。

ホームページの中には確かに入っているのですが、産業振興的なものでいくと、ちょうど中間的な部分にポツとあって、そこをクリックするとこの内容が出てくるのですが、だからその周知の仕方考えたら、もう少し増えるのではないかと、私は思います。



井内会長                    はい、わかりました。  
それでは一応、もう少し分かりやすくするという事で、行政の制度の名前が長ったらしいとか、難しい漢字が並んでいるとか、中身はあまり分からないとか自分に関係ないのではないだろうかみたいものがあるって、昔、私も商標委員やっている時に、補助金の説明をどうするかと。  
経営者の皆さんと一緒に考えて、こんなふうにしたら分かりやすいなといったような事をやったことがあります。だから、分かりにくいということで、やっぱり周知する時にもう少し分かりやすい表現を。

吉田委員                    この小規模事業者って、5人以下っていうことらしいですが、これに、親族が駄目でしょ、何親等って。

事務局                      駄目ですね。  
親族の方での申請も実はありましたが、制度上、親族の方は外させて頂いているので、その方は、利用できなかったということはあるですね。

吉田委員                    親族は、どの辺の範囲まででしたか。  
小規模もそういう所がありますよね。

事務局                      そうですね。

吉田委員                    三親等までですか。

事務局                      はい。  
三親等です。

吉田委員                    三親等というどういう意味ですか。

事務局                      兄弟の子供が三親等。  
姪っ子、甥っ子とかは三親等。

吉田委員                    小規模事業者はそういうところ、多いですね。

事務局                      そうですね。  
役所的には、やっぱり幅広い雇用をとるところで、色々な人を雇っていただいて、市内にも来ていただきたいという想いがあるというところで、制度と

しては、そのような作り方になっているところなので、その事については、検討をしてはいきますが、他の色々な制度もやはり、これぐらいの身内の方には、補助というのはなかなか見えてこないところが現状。

吉田委員

なかなか難しいところですね。

せっかく予算をいただいているのに、小規模のところはやはり、姪っ子とか甥っ子にどうだということがあるからね。

わかりました。

三親等までできないということですね。

事務局

はい。

井内会長

それでは、皆さん、とりわけ4年度は分かりやすくするという事で今年は、よろしくお願ひしたいと思います。

よろしいですか。

それでは、他に意見がないようですから、議事は以上としたいと思いますが、その他について、今日の委員会での議論で、何か意見があれば聞きたいと思いますが、大分、皆さんにお話ししていただきましたから、まだ喋りたいという人は、いませんか。

もういいですか。

内田委員

一つだけ、今回観光の部分の42ページに、持続可能な開発目標のSDGsの対応ということが書いてあると。

現在中小企業については2030年までに、SDGsの色々な開発目標をとというようなことで各企業さん、色々な業種があるので、それに基づいて17の項目のうち、どれに分類をするかという部分はある程度、明確にして、会社経営をやっていかないといけないという事がありますが、なかなか浸透が今現在できていないというような事なので、この辺りを産業振興会議に提示する部分かどうかは少し別として、何かそのような部分について、2030年まであと、8年しかないものですから、その中で、じゃあどういう形で各市の企業さんの形に浸透させるか。

商工会議所も多分、色々なセミナーをやりながら或いは市もセミナーをやりながら、浸透していくという事があると思いますが、この辺について、もう少し具体的に2030年度までに、どのような形にしていくかという部分はある程度、明確にする方が多分、中小規模事業者含めてですね、わかりやすくなっていくのかなと思ったものですから。

井内会長

他に意見がありましたら。

奥村委員

産業振興基本条例は、ちょうどコロナ禍の前に整備されたもので、コロナ禍においての、私ども商工会議所の2年間は、新型コロナウイルス感染症対策事業として国、県の様々な支援事業についての相談案件が、毎日非常に多くありました。

これらの相談内容を参考にしながら、犬山市独自の事業所支援策を、市当局と内容を検討しながら支援事業を策定してきた一人として、先程の事業報告を聞いていました。

そのような目で見ても、まさしくこの産業振興基本条例ができたおかげで、今回のコロナでは、早くコロナ対応ができたかなというふうに思っています。

これからも新たな支援制度策定にむけ、商工会議所との連携を密にし、実施していくことが必要だと思います。

これまで、この会議ができませんでしたが、各委員の様々な意見をもとに、盛り上げていきたいと思っています。ありがとうございます。

井内会長

他ありませんでしょうか。

内田委員

最後もう一個ありました。

産業振興会議の部分については、役所さんの方から色々な補助金、助成金についての提案があって、それについて議論していくという部分がありますが、私、中小企業家同友会の方から来ていますが、一つ、例えばワーキング的な部分を作って、犬山市のメンバーと一緒に、どのような形が、今後、必要なことかという議論をクリアしながら、逆に提案していくと、先ほどのSDGsではないですが、そのような部分の浸透やそれ以外の様々な事があるのですが、この補助金ありきということではなく、事業の中で、困りごとの部分も色々な形で。

今日はかなり、観光の部分が大事な事なのですが、それについても色々議論しながら、やっていくというようなことで、ワーキングも一つの進め方の一つかなというふうに思っていますので、今後同友会で一遍話し合っ、提案的な部分ができればなというふうに思います。

井内会長

よろしいでしょうか。

それでは、私の方が最後に。

先ほど、はじめに見ましたように、条例を作りました。

そして、色々な施策ができて、新型コロナやウクライナ情勢、地震など、経済がどんどん、大激変する時代になりまして、少しでも、この振興条例を良くしていくためにも犬山市の企業実態でまず、国内回帰のような、要するに大手のメーカーさんが沢山ありますので、今後どのように動いていこうとするのかという事を考える必要があります。

昔だったらどんどん、海外に出て行くようになったけど、これからどうなるか、経済安保で帰ってくるのか帰ってこないのかというような事も含めまして、私が言い出しっぺなので、市の職員と大手さんと小さい所も、必要なので、とりわけ雇用や経済効果が大きいところの動向をまずは、知りたいと思いますので、実態調査を振興会議の方でも聞いていくという事にしていきたい。

この会議に、反映をさせていきたいというふうに思いますので、よろしくお願ひします。

それでは、議事を終了し、進行事務局へお返しします。

事務局

はい。

ありがとうございます。

皆さん、ご熱心な議論をありがとうございました。

それでは、最後に事務局より次回の会議の方について、ご案内します。

#### 7. その他

次回の会議の日程については、コロナの状況もあることから、内部で調整後、各委員へお知らせ。

#### 8. 閉会